

2. 学部授業科目

124 (B1) 84

授業科目名	災害と復興を考える		
授業形態	講義		
担当教員	大泉 英次、西川 一弘、出口 寿久、此松 昌彦、塚田 晃司、照本 清峰		
開 講	南紀熊野サテライト	区 分	学部開放
実施日・時間・教員	4月14日(土) 13:00~17:00 担当:大泉 英次		
	4月21日(土) 13:00~17:00 担当:西川 一弘		
	4月28日(土) 13:00~17:00 担当:出口 寿久		
	5月12日(土) 13:00~17:00 担当:此松 昌彦		
	5月19日(土) 13:00~17:00 担当:塚田 晃司		
	5月26日(土) 13:00~17:00 担当:照本 清峰		
【講義内容】			
<p>第1回 災害復興と経済(経済学部 大泉英次) 災害からの復興のありかたは地域の経済と生活、そして日本経済に大きな影響を及ぼします。「復興災害」を起こさないためには何が必要でしょうか。これを阪神淡路大震災と東日本大震災から考えます。</p>			
<p>第2回 災害と生活交通(南紀熊野サテライト 西川一弘) 災害が発生すると地域ではさまざまな課題が生じます。そのひとつに公共交通網の遮断があります。災害時における生活交通確保のあり方、事前の想定、復興における生活交通の役割などを考えていきます。</p>			
<p>第3回 災害と生涯学習(地域連携・生涯学習センター 出口寿久) 災害復興は、ボランティアの協力なしでは考えられません。平時の人々の生涯学習の成果を生かす場としてのボランティア活動が、有事の時の災害ボランティア活動につながります。「絆」づくりのための生涯学習の役割について考えていきます。</p>			
<p>第4回 災害と地質(教育学部 此松昌彦) 東日本大震災では地震による埋立地の液状化現象や地盤沈下が発生し、台風12号では土砂災害が発生しました。これらは地質災害です。地質ではどのようなリスクを想定したらよいのか、安全なまちづくりに欠かせない事例を紹介し考えていきます。</p>			
<p>第5回 災害と情報通信技術(システム工学部 塚田晃司) 東日本大震災において、そして被災後の各種活動においてICT(情報通信技術)の有用性・重要性が再認識されました。災害時における情報通信技術の活用事例、大規模災害に耐える情報通信技術の研究動向等について解説します。</p>			
<p>第6回 災害と復興(防災研究教育センター 照本清峰) 大規模な災害が起こった後に生じる復興の問題を考えます。復興に関連する地域の再建、生活の再建、産業の再建、社会基盤施設の再建の枠組みを説明し、復興支援施策のあり方について議論します。</p>			
【テキスト・教材】			
講義ごとに資料を配布します。			
【事前学習】			
新聞やテレビの報道などで災害と復興について考え、講義にのぞんでください。			